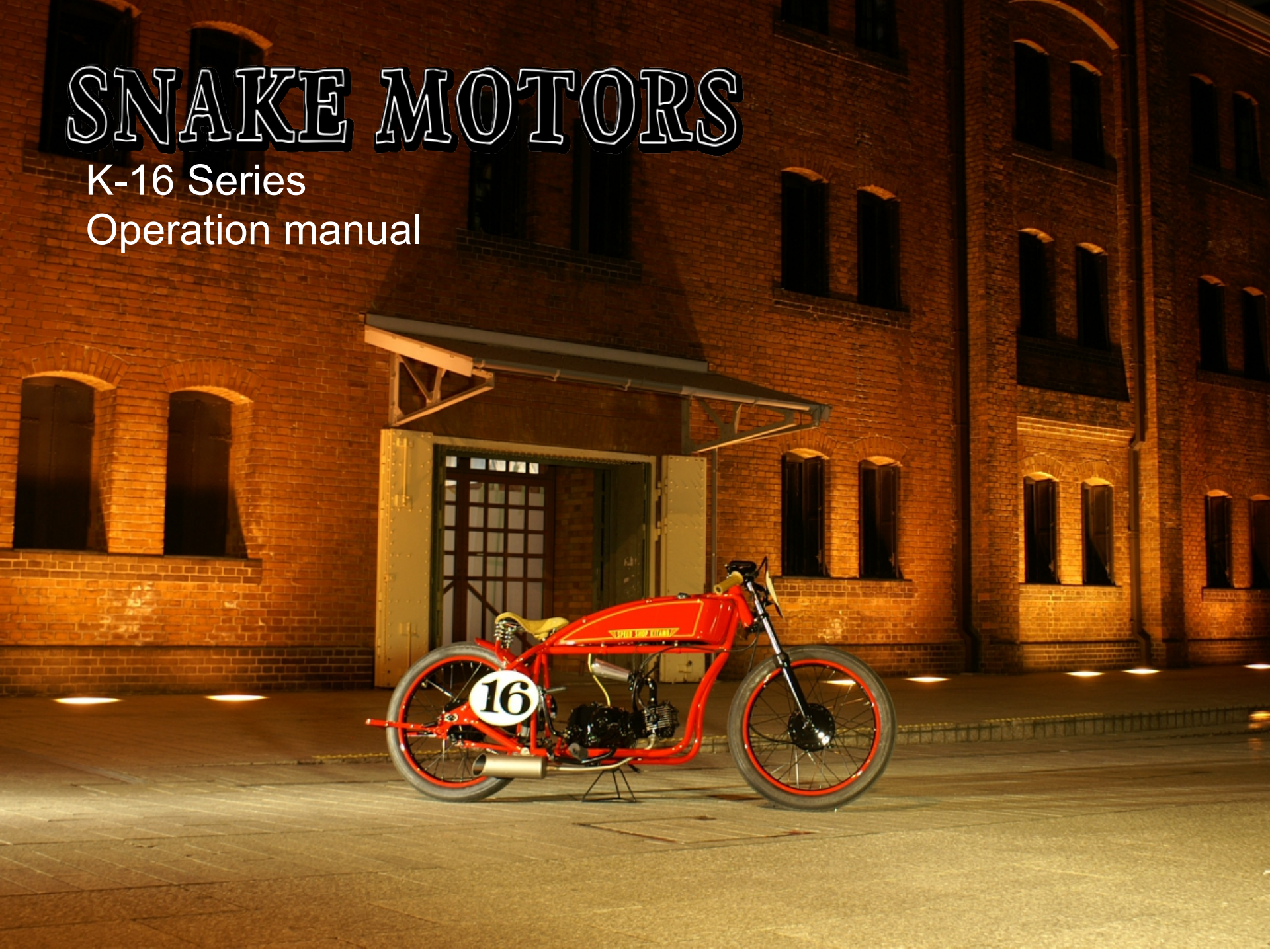
SNAKE MOTORS

K-16 Series

Operation manual



このたびはSNAKE MOTORS車をお買いあげいただきありがとうございます。

オートバイは取扱いを誤ると事故や故障の原因となります。その結果、使用者自身のみならず他者に対しても損害を与えてしまう可能性があります。正しい取扱いをご理解いただき、安全で快適なバイクライフを楽しむために、ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。

- この取扱説明書には、オートバイの正しい取り扱い方、簡単な点検方法などについて説明してあります。
- [安全に関する表示」「安全運転のために」「点検・整備を安全に行うために」は重要ですので、しっかりお読みください

オートバイの取扱いを十分ご存知の方も、この製品独自の装備や取扱いがありますので、運転する前に必ずお読みください。

ご購入いただいた製品の受取りの際は、SNAKE MOTORS販売店にて、取扱説明書を受け取り、下記説明を受けてください。

- オートバイの正しい取扱い方法
- 保証内容と保証期間
- 保証書の発行（保証登録票の記入・捺印）
- 日常点検・定期点検整備について

オートバイを譲られる場合は、次の方もためにこの取扱説明書をお渡しください。

仕様、その他の変更により、この本と実車が一致しない場合があります。ご了承ください

☆「安全に関する表示」

運転者及び他社の傷害・損害を被らないために、下記の表示で記載している箇所があります。これらは重要ですので、しっかりとお読みください。

⚠ Warning 取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を生じる可能性が想定される内容を示しています。

⚠ CAUTION 取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性があるまたは物的損害の発生が予想される内容を示しています。

ⓘ ATTENTION オートバイのために守っていただきたいこと。知っておくと便利なことを示しています

この取扱説明書は、K-16 KITANO REPLICAを中心に説明しています。

目　次

保証書……4

安全運転のために

運転する前に ……6
運転中は ……7
オートバイの整備など ……8

取扱い方法

各部の名称 ……10
メーター類 ……13
各スイッチ ……14
各装備の使い方……16
ガソリンの補給……18

正しい運転操作

エンジンのかけ方……20
ギヤチェンジ方法……21
ブレーキの使い方 ……22

オートバイの点検

メンテナンスを安全に行うために……24
日常点検……25
定期点検……26
メンテナンススケジュール ……28
メンテナンスレコード……28

簡単なメンテナンス

整備をするときの注意点 …… 30
ブレーキ……31
クラッチ…… ……33
タイヤ……34
ドライブチェーン……35
エンジンオイル……37
バッテリ ……38
手入れと保管……39

K-16サービスデータ……40

SNAKE MOTORS QUALITY SERVICE TOKYO·JAPAN

保 証 書

1.保証の内容・期間

（1）保証の内容

あなたのオートバイを構成する、純正部品に材料または製造上の不具合が発生した場合、この保証書に示す期間と条件に従ってこれを無料で修理いたします。
（以下、この修理を保証修理といいます）
保証修理の際交換した部品は、弊社の所有となります。

（2）保証期間

新車を納車した日から1年間

2.保証を適用しない事項

（1）つぎに示すもの

① 機能上影響がないと認められる感覚的現象。
（音・振動・オイルのにじみなど）
② 使用損耗および時の経過による変化で発生した不具合。
（塗装面・メッキ面・樹脂部品・ゴム部品等の自然退色劣化等）
③ 通常の注意・点検で発見できたにもかかわらず、放置した事により拡大した故障・不具合。

（2）つぎに示す事項に起因する不具合

① 3項「お客様にお守りいただく事項」を守らなかった場合。
② 法令および弊社が指定する定期点検整備を実施しなかった場合。
③ 保守・整備の不備または間違い。
④ 取扱説明書などに示す取り扱い方法と異なる使用および仕 様の限度を超える使用に起因する不具合。
（乗車定員・積載量・エンジン回転・速度など）
⑤ 純正部品および取扱説明書に指定する油脂類以外の使用。
⑥ 取扱説明書に示す定期交換部品を指定どうり交換しなかった場合。
⑦ 一般に車両が走行しない場所あるいは特殊な使用状態での使用およびレース、ラリーなどによる酷使。
⑧ 法令および弊社が認めていない改造。
⑨ ばい煙・薬品・鳥ふん・塩分・酸性雨・飛石・金属粉などの外部要因。
⑩ 台風・水害・地震などの天災ならびに事故・火災。

（3）つぎに示す費用は負担しません

① 消耗部品および油脂類などの交換
② 点検・調整・給油・清掃作業などに要した費用
③ 法令および弊社が指定する定期点検整備費用
④ 弊社が指定する定期交換部品の交換費用
⑤ SNAKE MOTORS正規サポート店以外で行われた修理費用。
⑥ 保証修理にともなう付随的費用および車両を使用できなかったことによる損失ならびに本保証書の示す条件以外の費用・補償など。
（電話代・けん引代・配送料・レンタカー代・旅費・積荷・休車による損失の補償など）

3.お客様にお守りいただく事項

つぎに示す事項は、保証修理を受けるためのお客様の義務として必ず守ってください

① 取扱説明書に示す取扱方法および仕様に従った正しい取扱。
② 日常点検の実施
③ 法令および弊社が指定する点検整備の実施
④ 取扱説明書に示す定期交換部品の指定どうりの交換
⑤ 定期点検整備を実施した事を証する記録簿またはSNAKE MOTORS正規サポート店が発行する点検明細書を保持する事。

4.保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、お車とこの保証書を最寄のSNAKE MOTORS正規サポート店へお持ちいただき保証修理をお申しつけください。その際、3項-⑤で示す点検記録簿または点検明細書をご提示ください。ご提示なされない場合は保証修理をお受けいたしかねます。

5.保証の発効

この保証書は、弊社またはお買上げのSNAKE MOTORS正規販売店が左記保証登録票に必要事項を記入捺印後有効となります。

6.保証の継承

保証期間が残っている車両をお買上げの際は、ご購入後ただちに最寄のSNAKE MOTORS正規サポート店へ車両とこの保証書をお持ちいただき、必要な点検（有料）と保証の継承手続きをお受けください。

7.保証の適用

この保証書は、日本国内で使用されている車両のみに適用いたします。

※この保証書は、本書に明示した期間と条件のもとに無料修理をお約束するものです。従って保証期間経過後に発生した不具合については保証修理の適用はありません。

保証登録票

ふりがな

お名前　　様

〒　　－　　ご連絡先　　－　　－

ご住所

機　種	
フレームNo	－
登 録 日	年　月　日
車両番号	

保証登録日　　年　月　日

販売店名

ご住所

印

電話番号　　－　　－

有限会社セイノ（MOON AUTO）

東京都町田市忠生2-28-1

安全運転のために

この章であげる項目は、このオートバイを取扱う上での基本的な注意事項です。これらの項目を守り安全運転に心がけてください。

運転する前に

✓ **日常点検を行ってください**

事故や故障を未然に防ぐため、日常点検・定期点検を必ず実施しましょう。

また、車両は常に清潔に手入れをしましょう。

いつもと違う音やにおいがしたり、液漏れなどを見つけたときは、すぐにSNAKE MOTORSサポート店にて、点検・整備を行ってください。

ⓘ ATTENTION

車両を清潔に保っていれば、オイル漏れなどの症状に気付きやすくなります。特に雨中走行後などは、細部まで洗車をし、普段から綺麗な状態を維持するよう心がけましょう

✓ **エンジンをかけるときは**

必ず風通しの良い屋外でエンジンをかけてください。

⚠ WARNING

排気ガスには一酸化炭素など人体に影響を及ぼす有害な成分が含まれています。しめきったガレージの中など、風通しの悪い場所でエンジンをかけると、それらの有害成分により、ガス中毒を起こす可能性があります。

✓ **給油時は火気厳禁**

ガソリンを給油するときは、エンジンをとめ周囲に火気が無いことを確認した上で行ってください。

✓ **安全に配慮した服装で**

•乗車するときは必ずヘルメットを着用してください。これは法令でも定められています。

•ヘルメットはあごひもを確実に締めるなど、正しく着用するよう心がけてください。

•ヘルメットは二輪車用でS,SG,PSCまたはJISマークのあるものをお勧めします。また、頭にしっくりあって圧迫感のないものをお選びください。

•摩擦に強い皮製のグローブや、ゴーグルなども着用するよう心がけてください。

•長袖のジャケットや長ズボンなど肌の露出が少なく、明るく目立つものを着用するよう心がけてください。

•すその広いズボンや袖口の広い服は、ブレーキやチェンジ操作など、運転を阻害する可能性があり、事故の原因にもなりますので避けてください。

•くるぶしまで覆い、かかとのある運転のしやすい靴をはくよう心がけてください。

⚠ WARNING

ヘルメットを正しく着用しないと、万一の事故の際、死亡または重大な傷害を負う可能性が高くなります。

乗車するときは、必ずヘルメットおよび保護性の高い服を着用してください。

安全運転のために

運転中は

✓ **法律で定められた速度を守りましょう**

この製品の法定速度は30km/hです。
オートバイに乗車するときは、速度に注意し法定速度を遵守して走行しましょう。

✓ **乗りかた**

•走行中は両手でハンドルを握り、両足をステップにおいてください。

•急激なハンドル操作やブレーキ操作・片手運転は避けてください。
横滑りや転倒の原因となります。

⚠CAUTION

本製品は、後のサスペンションが装着されていない、リジットフレームタイプの製品です。サスペンション付のオートバイと比べて、ブレーキやアクセル操作に対する反応が直接的になります。

オートバイの操作に十分に慣れている方も、細心の注意をはらってご使用ください。

✓ **風が強い日は**

風が強いとき、トンネルの出口や橋の上、あるいは大型トラックに追い越されたときは、横風を受けて車体が振られたり流されたりします。
スピードを抑えて、ハンドルをしっかり握って運転しましょう。

✓ **雨の日、雪の日は**

•路面が滑りやすいので急加速、急ブレーキは避けてください。

•普段よりスピードをおとして、早めのブレーキを心がけてください。

✓ **駐車するときは**

•盗難防止のため、オートバイから離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーを抜いてお持ちください。

•交通の邪魔にならない、水平なしっかりした地面の安全な場所に駐車してください。

•違法駐車はしないでください。

•ハンドルを左にきって、サイドスタンドを使用して駐車してください。
ハンドルを右にきって駐車すると不安定になり転倒する恐れがあります。

•やむをえず傾斜地、砂利の上、でこぼこな所、地面のやわらかい所などに駐車せざるを得ないときは、オートバイが動き出したり、転倒したりしないように十分留意してください。

•エンジンの回転中および停止後しばらくの間は、マフラ、エンジンなどに触れないでください。

•他者がマフラ、エンジンなどに触れることのない場所に駐車しましょう

⚠ WARNING

エンジンの回転中および停止後しばらくは、マフラ、エンジンが大変熱くなっていますこのとき触れるとやけどを負う可能性があります。特に、小さいお子様が遊ぶ公園などのそばに駐車するときは十分ご注意ください。

ⓘ ATTENTION

本製品に装着されているリアスタンドは、デザインの一部であるため、駐車のために使用することはお勧めできません。不特定多数の方が集まる所で駐車される際は、必ずサイドスタンドをご使用ください

安全運転のために

オートバイの整備など

✓ **違法改造はやめましょう**

オートバイの構造や機能に関係する改造は、操作性を悪くしたり、排気音を大きくしたり、ひいてはオートバイの寿命を縮めることになります。
このような改造は法律に触れるばかりでなく、他者の迷惑となります。
このような改造を実施した場合は、保証の適用を除外されますのでご了承ください。

✓ **定期点検整備を実施しましょう**

•ご購入いただいたオートバイを、少しでも長く楽しむため、定期的にSNAKE MOTORSサポート店にて、定期点検を実施しましょう。

•自己流のエンジン調整、部品の取り外しは行わないでください。

•定期点検整備の際は、本取扱説明書にて指定・推奨する油脂類および純正部品をご使用ください。

✓ **環境保護**

将来、廃車される場合や、使用済みバッテリー、タイヤ、エンジンオイルなどを廃棄する場合は、地球の環境を守るため、むやみに捨てないでください。

廃棄するときは、SNAKE MOTORSサポート店にご相談ください。

ⓘ ATTENTION

修理・点検のとき、純正部品または、弊社が指定・推奨する部品・以外の部品・油脂類を使用した場合、保証修理期間内の故障であっても、保証の適用を受けられない場合があります。

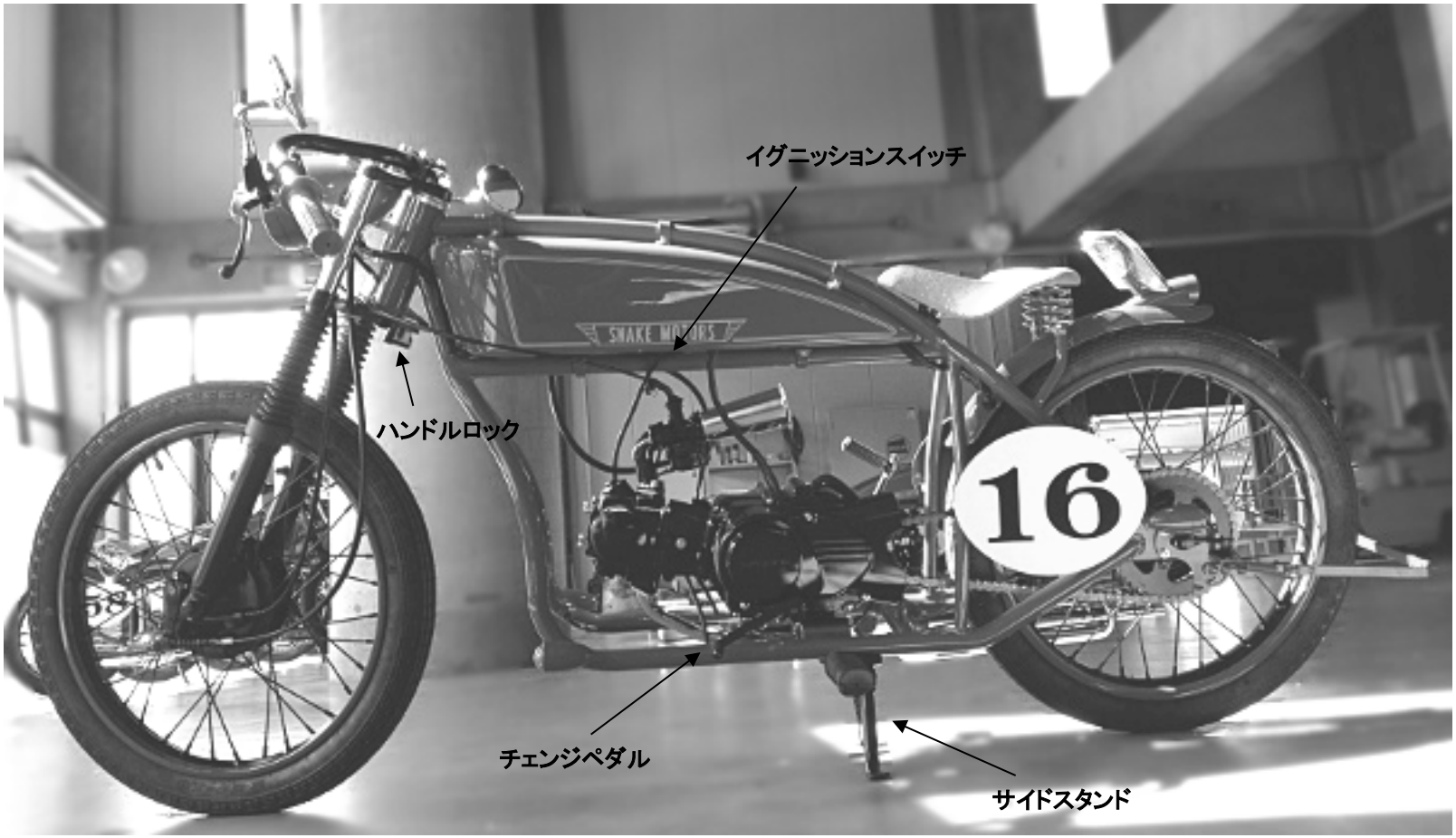
また、SNAKE MOTORS正規サポート店以外のSHOPや、お客様ご自身で修理・整備を行った場合も、その後の保証について受けられない場合があります

定期点検や修理は、必ずSNAKE MOTORS正規サポート店で実施してください。

MEMO

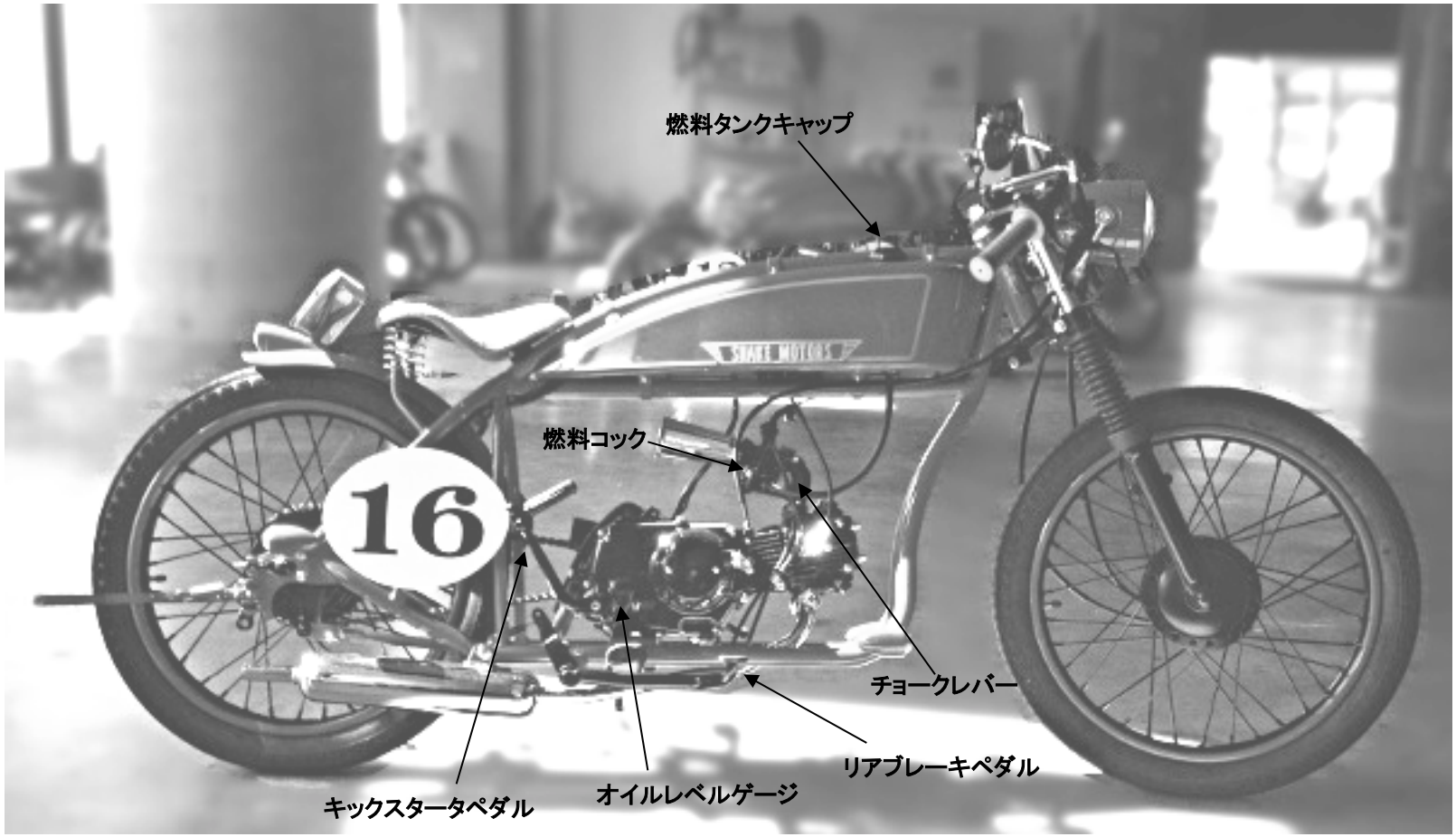
取扱い方法

各部の名称



取扱い方法

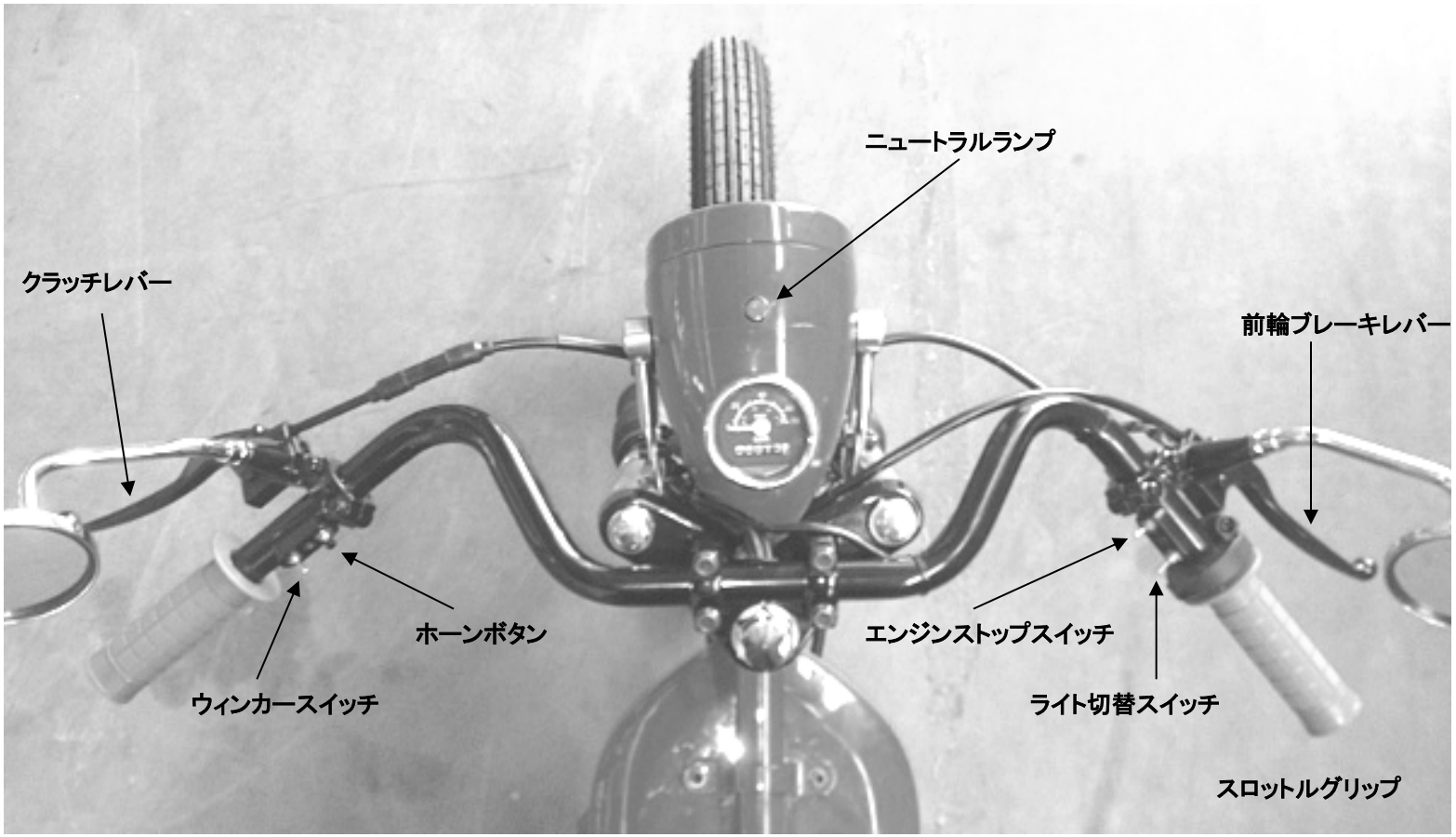
各部の名称



取扱い方法

この章であげる項目は、このオートバイの装備の名称や取付位置、取扱いかたの説明です。

各部の名称



取扱い方法

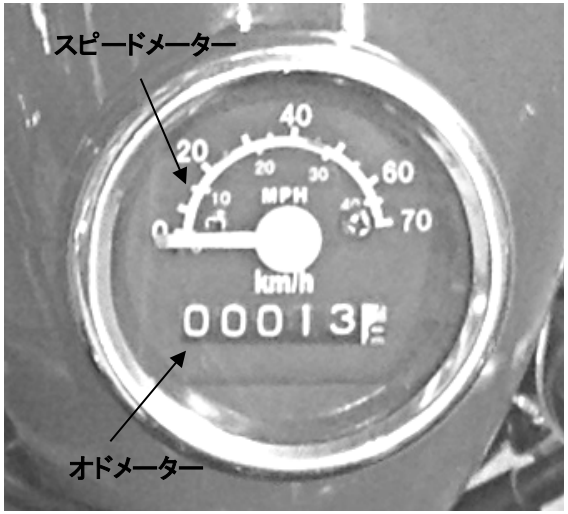
メータ類

✓ **スピードメータ**
オートバイの走行速度をkm/hの単位で表示します。

ⓘ ATTENTION

法定速度を守りましょう

✓ **オドメータ**
走行した総距離をkm単位で示します。
白地に黒数字は100m単位です。
定期点検などの目安となります



✓ **ニュートラルインジケータ**
メインスイッチが”ON”で、ギヤが“ニュートラル”の位置にあるときに点灯します。

⚠ CAUTION

エンジン始動時は、必ずニュートラルインジケータが点灯していることを確認してからかけてください。

ギヤがニュートラル以外の位置にあるとき、キックスタータを踏むと、オートバイが動き出してしまい、転倒する恐れがあります。

ⓘ ATTENTION

本製品には燃料残量計は装備されていません。

あらかじめ燃費を計算したうえで、オドメータを活用し、早めの給油を心がけ、ガス欠に注意しましょう

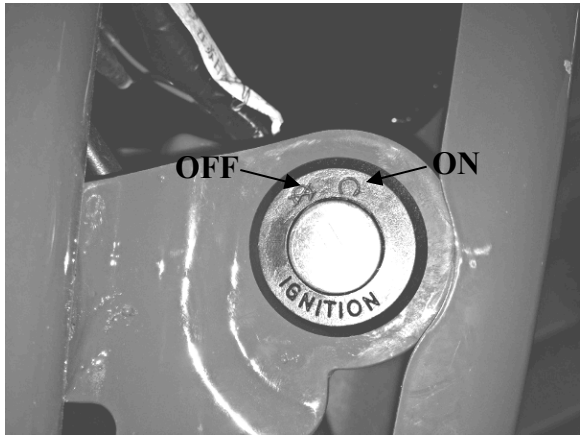
取扱い方法

スイッチの使いかた

✓ **メインスイッチ**

メインスイッチは電気回路のON-OFFをキーをまわして行います。

キーの位置	作　用
ON （エンジン停止中）	・エンジンの始動ができます。 ・メータランプが点灯します。 ・ニュートラルランプが点灯します。 ※ギヤがニュートラルの位置にあるときのみ ・ホーン・ウィンカーが使えます。 ・キーは抜けません
ON （エンジン動作時）	・走行ができます。 ・ライトが点灯します。（常時点灯式） ・テールランプが点灯します。 ・キーは抜けません。
OFF	・エンジンが停止します。 ・ランプ類・スイッチ類は使えません。 ・キーは抜けます。



✓ **メインスイッチの場所**

※画像はK-16 KITANO REPLICAの場合です

⚠ WARNING

走行中はキーを操作しないでください。思わぬ事故・故障につながることがあります。

必ず停車後にキー操作をしてください。

ⓘ ATTENTION

・エンジンをかけずにONのままにしておくと、バッテリー上がりの原因となります。エンジン停止中は必ずOFFの位置にしてください。

・オートバイから離れるときは、盗難防止のためハンドルをロックし、必ずキーを抜いてお持ちください。

・キーはハンドルロックと共通して使えます。

・スペアキーは大切に保管してください

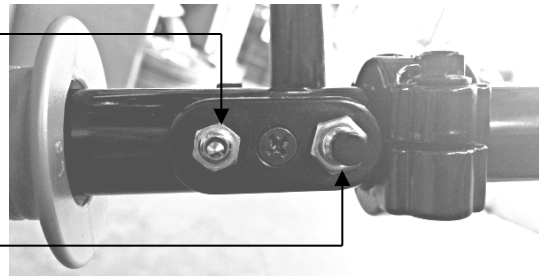
取扱い方法

スイッチの使いかた

✓ ターンシグナルスイッチ

右左折するときや進路変更する場合の合図に使います。

・右折するときはスイッチレバーを→の方向に倒します
・左折するときはスイッチレバーを←の方向に倒します
・解除はスイッチレバーを中心の位置に戻します



✓ ホーンスイッチ

メインスイッチがONの状態でボタンを押すとホーンがなります。

⚠ WARNING

ターンシグナルスイッチは、自動的に解除しません。使用後は必ずレバーを中心に戻し解除してください。つけたままにしておくと周囲の誤判断を招き、事故を起こす危険があります。

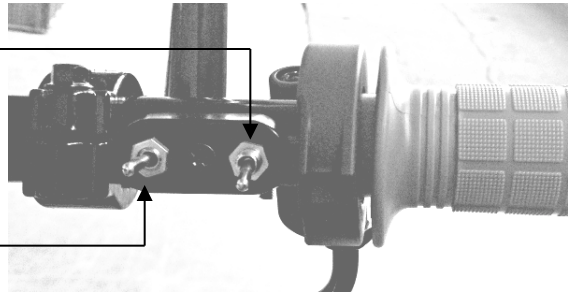
ⓘ ATTENTION

電球（バルブ）は、正規のワット数以外のものを使用すると、ターンシグナルが正常に作動しなくなります。交換の際は、必ず正規のワット数のものを使用してください。

✓ ディマスイッチ

ヘッドライトの上下方向の向きを切り替えます。

ハイビーム・・・・・スイッチレバーの位置を上側に倒します
ロービーム・・・・・スイッチレバーの位置を下側に倒します



✓ エンジンストップスイッチ

エンジンの緊急停止が必要となったときのみ操作します。

スイッチレバーの位置が右側・・・・・ON（エンジンがかかります）
スイッチレバーの位置が左側・・・・・OFF（エンジンが停止します）

ⓘ ATTENTION

・昼間は、ロービームで走行しましょう

・対向車や先行車があるときはロービームで走行しましょう

⚠ WARNING

エンジンストップスイッチは、緊急時以外使用しないでください。

また、やむを得ず使用する場合は、周囲の状況や運転操作に十分注意をしてご使用ください。

取扱い方法

装備の使いかた

✓ **ハンドルロック**

オートバイから離れるときは、盗難防止のため必ずハンドルロックをかけましょう。

【かけかた】

1.ハンドルを左へいっぱいにきります。
2.ハンドルロックにメインスイッチキーを差し込みます。
3.キーを右に180°回します。このとき、ロックがかかりにくい場合は、キーを回しながら少しハンドルを左右に動かしてください。
4.キーを抜きます。

ⓘ ATTENTION

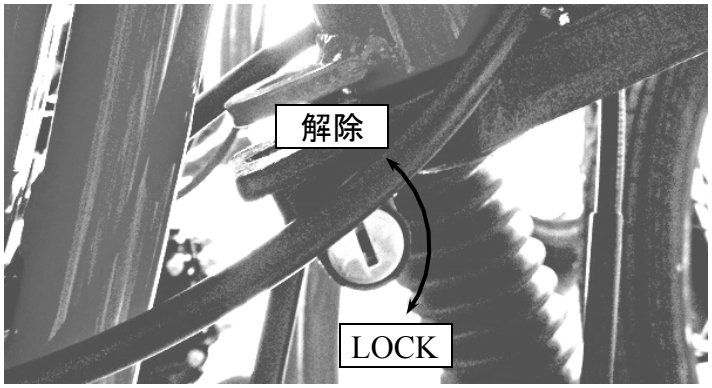
ハンドルを左右に動かして、確実にロックされていることを確認してください。

【外しかた】

キーを差込み、かけかたの逆の手順で行います

⚠ CAUTION

走行前に、ハンドルを左右に動かして、切れ角が左右均等か、また、スムーズに動くかを確認してください。



✓ **サイドスタンド**

駐車をするときは、サイドスタンドを使いましょう。

【だしかた】

1.オートバイから降り、サイドスタンドを一番前の止まるところまで足で出します。
2.静かにサイドスタンドを設置させます。
3.ハンドルを一番左まできります。

【しまいかた】

だしかたの逆の手順で行います。このときサイドスタンドが止まるまで、確実に上げてください。

⚠ CAUTION

・サイドスタンドは止まるところまで確実に出してください。

・必ず、平らで硬い地面の所で使用してください。

・やむを得ず坂道などで駐車する場合は、ギアを1速に入れておくなど、自然にオートバイが動き出しスタンドが外れたりしないような処置をしてください。

・走行前に、サイドスタンドが確実にしまわれていることを確認してください。

・これらの作業を怠ると、オートバイが転倒し傷害を負う恐れがあります

⚠ WARNING

本製品にはリアスタンドが装着されておりますが、これはデザインの一部であり、スタンドとしての機能は備えておりません。万が一、スタンドとして使用する際の事故・傷害・破損などを防ぐ為、可動しない設計となっております。
無理に可動させようとした場合、破損する可能性があります。

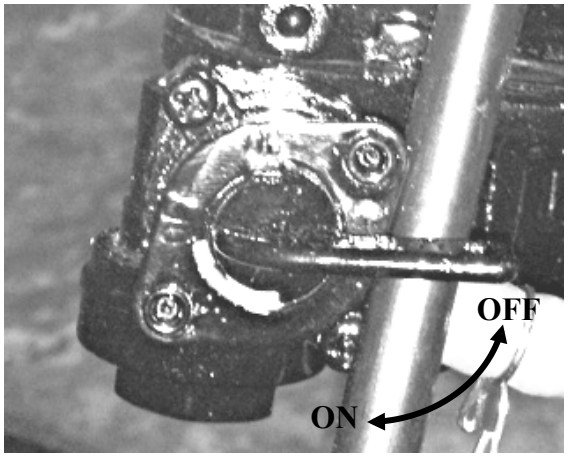
取扱い方法

装備の使いかた

✓ **燃料コック**

キャブレターに装着されているレバーの向きで燃料コックの状態を示します。

ON･･･ キャブレターにガソリンが流れます。
エンジンを始動するときはこの位置にします。
OFF･･･ キャブレターにガソリンが流れません。
乗車するとき以外は、この位置にしておきましょう。



ⓘ ATTENTION

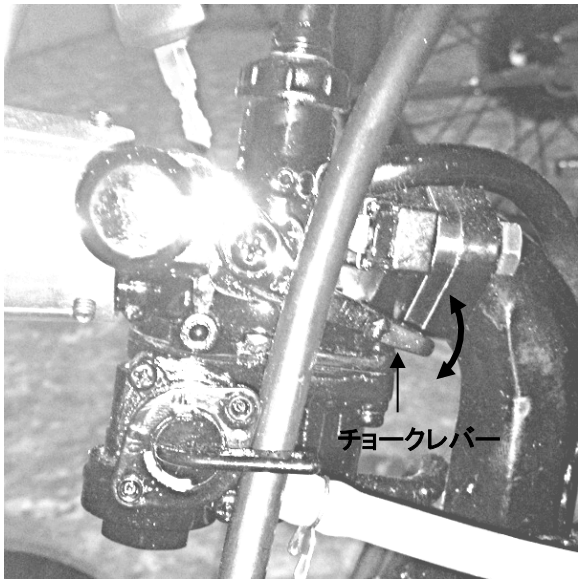
**本製品は予備タンクは装着しておりません。
オドメータを活用しながら、早めの給油を心がけ、ガス欠に注意しましょう。**

燃料タンク容量：4.0L

✓ **チョークレバー**

エンジンが冷えている状態で始動するときは、チョークレバーを操作してからエンジンをかけましょう。

チョークレバーを上げた状態･･･チョークが作動しています
チョークレバーを下げた状態･･･チョークはOFF



ⓘ ATTENTION

チョークを作動させたままで長時間暖機運転を行わないでください。エンジンが損傷する恐れがあります。

取扱い方法

ガソリンの補給

✓ **使用燃料**
無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
【給油方法】
1.フューエルキャップを左に回して外します。
2.ガソリンを給油口の下端まで入れます。
3.フューエルキャップを右に回して確実に閉めます。

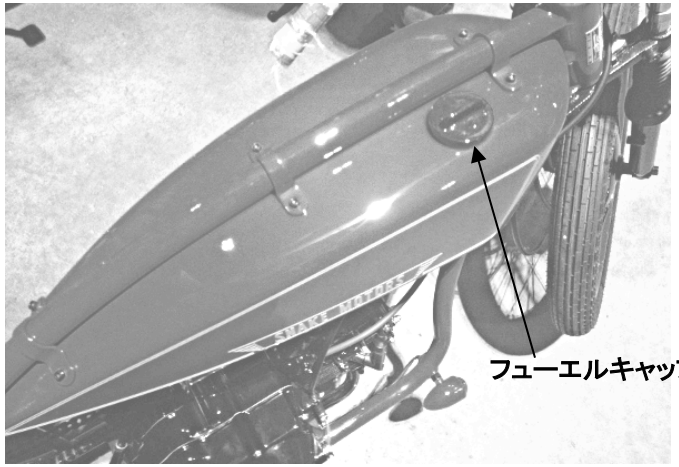
ⓘ ATTENTION

・給油時のガソリンの吹きこぼれにご注意ください。

・必ず無縁ガソリンを補給してください。

・軽油や粗悪ガソリンを補給したり、不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンに悪影響を与えます。

ガソリンを給油するときは、必ずエンジンを止め、近くに火気が無いことを確認してから行ってください。



⚠ WARNING

ガソリンは引火性が高く、取扱いを誤ると、火傷を負ったり、爆発・火災を起こし、重大な傷害に至る可能性があります。

また、身体に帯電した静電気の放電による火花に、気化したガソリンが引火し、火傷を負う可能性があります。

ガソリンを補給する場合は・・・

・エンジンを止めてください。また、裸火、火花、熱源などの火元を遠ざけてください。

・燃料補給は必ず屋外で行ってください。

・フューエルキャップを開ける前に、車体などの金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。

・給油口下端より上に、ガソリンを入れないでください。キャップからガソリンがにじみ出ることがあります。

・フューエルキャップは確実に閉めてください。

・こぼれたガソリンは、すぐに布などで完全にふき取ってください。放置すると塗装面が傷み、変色する可能性があります。

MEMO

正しい運転操作

この章であげる項目は、オートバイの運転および操作方法の説明です。正しい運転操作を身につけ安全運転を心がけましょう。

エンジンのかけかた

✓ **始動手順**

【エンジンが冷えているとき】
1.ハンドルロックが解除されている事を確認してください。
2.燃料コックレバーが”ON”の位置にあることを確認します。
3.メインスイッチを“ON”にします。
4.チェンジギアをニュートラルにします。
※必ずニュートラルインジケータが点灯していることを確認してください。
5.チョークレバーをいっぱいに上げます。
6.スロットルグリップを1/8～1/4ほど回し、キックスタータを強くキックします。
7.エンジンがかかったら、チョークレバーを徐々に戻しながら、スロットルグリップを少し開閉させ、エンジンの回転がスムーズになるまで暖機運転をしてください。
8.エンジンの回転が安定したら、チョークレバーを完全に戻します。
9.サイドスタンドを確実に格納してからスタートします。

【エンジンが暖まっているとき】
1.ハンドルロックが解除されている事を確認してください。
2.燃料コックレバーが”ON”の位置にあることを確認します。
3.メインスイッチを“ON”にします。
4.チェンジギアをニュートラルにします。
※必ずニュートラルインジケータが点灯していることを確認してください。
5.スロットルグリップを1/8～1/4ほど回し、キックスタータを強くキックします。
6.エンジン回転が不安定な場合は、スロットルグリップを少し開閉させ、エンジンの回転がスムーズになるまで暖機運転をしてください。
7.サイドスタンドを確実に格納してからスタートします。

⚠CAUTION

- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。エンジンの始動は、必ず風通しの良い場所で行ってください。**
- **スタータをキックする前に、必ずニュートラルインジケータで、ギヤがニュートラルにあることを確認してください。**
- **万が一球切れなど、何らかのトラブルが発生し、ニュートラルインジケータが点灯しない場合は、車体を前後に動かしスムーズに動くことを確認してから始動してください。**
- **ギヤがニュートラル以外の位置にあるときにスタータを動作すると、オートバイが前へ進んでしまい転倒する危険があります。**

ⓘ ATTENTION

- **エンジンが冷えている状態で、無用の空ふかしをするとエンジン等に悪影響を与えますで、このような行為はしないでください。**
- **チョークを作動させたままで長時間暖機運転を行わないでください。エンジンが損傷する恐れがあります。**
- **また、これらの行為はガソリンの無駄使い、地球環境汚染にもなりますのでやめましょう。**
- **適切な慣らし運転を行うと、オートバイの性能を良い状態に保つことができ、エンジンの寿命にも影響します。**
- **この製品は、新車のときより500kmを走行するまでは、急発進、急加速を避け控え目な運転をしましょう。**

正しい運転操作

ギヤチェンジのしかた

✓ **基本操作**

•本製品は1ダウン3アップの4速リターン式です。

•ニュートラルギヤは1速と2速の間に位置します。

•変速するときは、スロットルグリップを一旦戻して、クラッチレバーをしっかり握ってから行います。

•チェンジペダルの操作は、つま先で軽く行い、ペダルにカチッと足応えのあるまで確実に操作をしてください。

✓ **発進およびシフトアップ**

•スタートするときは、ニュートラルから下に踏み込んで1速でスタートしてください。

•スタートする前に、サイドスタンドが確実に格納されていることを、必ず確認してください。

•発進後、速度がある程度出たら、エンジンの回転が上がりすぎる前につま先を上に動かして2速に変速してください。

•オートバイの速度にあわせて3速・4速とつま先を上に動かして、ギヤを切換えてください

✓ **シフトダウン**

•追越するときなど強力な加速が必要なときは、シフトダウンをすると加速力を得られます

•シフトダウンをするときは下表の速度内で操作してください。

	シフトチェンジ可能限界速度
4速⇔3速	30km/h以下
3速⇔2速	20km/h以下
2速⇔1速	10km/h以下

⚠CAUTION

•本製品にはサイドスタンドスイッチは装備されていないため、スタンドが格納されていない状態でギヤをいれてもエンジンは自動停止しません。ギヤを入れる前にスタンドが確実に格納されていることを確認しましょう。

•サイドスタンドが格納されていない状態で走行すると、スタンドが地面に接触し、転倒などの重大な事故が発生する危険があります。

•スタータをキックする前に、必ずニュートラルインジケータで、ギヤがニュートラルにあることを確認してください。

ⓘ ATTENTION

•シフト操作はクラッチを確実に握り、表の速度内で行ってください

•あまり高い速度でシフトダウン操作を行うと、エンジンの回転が上がりすぎてしまい、最悪の場合エンジン、ミッションが壊れる恐れがあります。

•不必要な急加減速をつつしみ、燃料の節約とエンジンの損耗を防ぐ走行を心がけましょう。

正しい運転操作

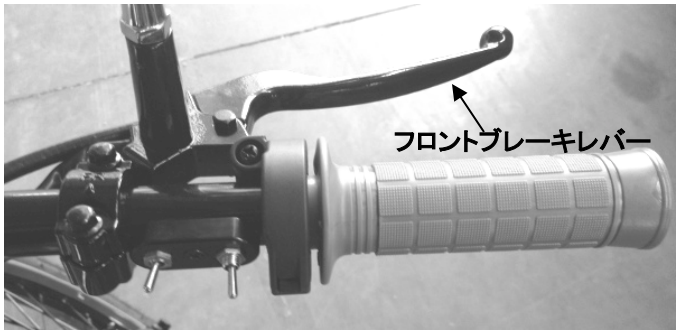
ブレーキの使いかた

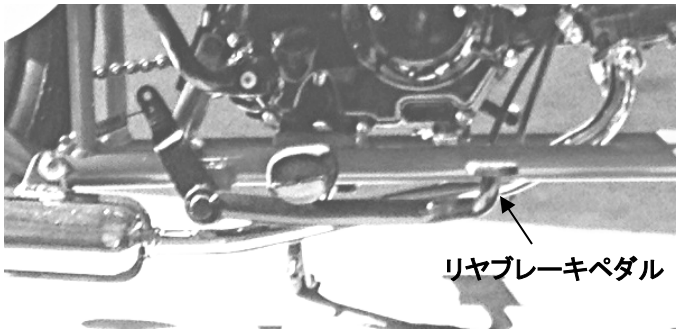
✓ **基本操作**

- ブレーキは前輪ブレーキと後輪ブレーキを同時に使いましょう。
- 不必要な急ブレーキは避けましょう。
- 雨天走行時や濡れた路面上では、早めのブレーキを心がけましょう。

✓ **エンジンブレーキ**

- スロットルグリップを戻すとエンジンブレーキがかかります。
- さらにエンジンブレーキを必要とする場合は、3速・2速・・・とシフトダウンを行ってください。





⚠ WARNING

- **急激なブレーキ操作は、横滑りの原因となり転倒など重大な傷害を被る事故を誘発する可能性があります。**
- **濡れた路面や積雪、凍った路面は、乾いた路面より制動距離が長くなるため、重大な事故につながる可能性があります**
- **長い下り坂など、連続的なブレーキ操作は、ブレーキ温度上昇の原因となり、ブレーキの効きが悪くなる恐れがあり、重大な事故につながる可能性がありますので避けてください。**
- **急激なシフトダウンによるエンジンブレーキは、横滑りの原因となります。エンジン回転数に併せた丁寧なギヤ操作を行ってください。**

ⓘ ATTENTION

- **濡れた路面ではスリップしやすいので、急激なブレーキを避けるよう、スピードを落として余裕を持った走行を心がけましょう。**
- **洗車後や水たまり走行後は、一時的にブレーキの効きが悪くなる場合があります。効きが悪い場合は、前後の車に注意をして、低速で走行しながら、効きが回復するまでブレーキを軽く作動させてください。**

MEMO

オートバイの点検

この章であげる項目は、オートバイの点検・整備に関する説明です。オートバイの寿命をのばし、安全で快適なバイクライフのために必ずお読みください。

メンテナンスを安全に行うために

- 点検・整備はエンジンを停止しキーを抜いた状態で行ってください。
- 平らな場所で、地面がしっかりとした所で、スタンドを立てた状態で実施してください。
- メンテナンスに工具を必要とするときは、適切な工具で行ってください。
- 走行して点検する必要があるときは、安全な場所で周囲の交通に十分注意して行ってください。

⚠ WARNING

・エンジン停止直後のメンテナンスは、エンジン本体、マフラやエクゾーストパイプなどが、大変熱くなっています。不用意に触れると火傷などの重大な傷害を負う可能性がありますのでご注意ください。

・排気ガスや整備用油脂類には、有害な成分が含まれています。しめきったガレージの中や、風通しの悪い場所で作業を行うと、意識障害を引き起こしたり、最悪の場合死亡する恐れもあるため、必ず換気をしながら実施してください。

法令に準じた点検

オートバイをご使用の方の安全と、快適にご使用いただき、事故を未然に防ぐために、道路運送車両法に準じて、日常点検と定期点検を必ず実施してください。

✓ **日常点検**

オートバイを使用する人が、1日1回運転の前に実施する点検です。このオートバイに適用される日常点検の項目は次ページをご覧ください。

✓ **定期点検**

オートバイを使用する人自身の責任において定期的に行う点検整備です。
道路運送車両法に準じて設けられた、6ヶ月、12ヶ月ごとの点検と、オートバイの寿命に影響するため、新車から500km走行時に行われる初回点検があります。

⚠ WARNING

**点検整備は、正しい方法で行なってください。
不適当な整備、未修理は、転倒事故などを起こす原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。**

また、日常点検や定期点検を怠った場合も、重大な事故や故障の原因となる事があります。

・点検整備は取扱説明書に記載された方法・要領を守り、必ず実施してください。

・異常箇所が認められた場合は、オートバイの使用を中止し、速やかにSNAKE MOTORSサポート店で修理してください。

オートバイの点検

日常点検

✓ **ブレーキ**
- レバーの遊び
- ペダルの遊び
- ブレーキの効き具合

✓ **タイヤ**
- 空気圧
- 亀裂、損傷、異物の有無
- 異常な磨耗
- 溝の深さ(※)

✓ **エンジン**
- エンジンオイルの量・汚れ(※)
- オイル・ガソリンの漏れ(※)
- かかり具合、異音(※)
- 低速、加速の状態(※)

✓ **灯火装置および方向指示器**

✓ **運行において異常が認められた箇所**

(※)印の点検は、オートバイの走行距離、運転時の状態などから判断した適切な時期(長距離走行前や洗車時、給油時など)に実施する項目です。

✓ **日常点検・部品配置図**

オートバイの点検

定期点検

✓ **初回点検について**

通常の定期点検とは別に、新車から500km走行した時点で、初回点検を実施してください。

オートバイは、この初期の点検整備が、車両の寿命に影響しますので重要です。

✓ **慣らし運転について**

新車のエンジンは、製造工程で発生したエンジン内部のバリが削れていき、この初回点検までの距離であたり取れていきます。
この期間を慣らし運転期間といいます。
慣らし運転は、オートバイの状態を、長く良い状態に保つ為に必要なことですので、初回点検終了までは、急発進・急加速・空ぶかしなどエンジンに負担となるような使い方は控えてください。

ⓘ ATTENTION

- **初回点検はSNAKE MOTORSサポート店で実施してください。**
- **初回点検では必ずオイル交換を実施してください。**
- **オイルはSNAKE MOTORS推奨OILをご使用ください。**
- **初回点検を受けなかった場合、保証の適用を受けられない場合があります**

✓ **交換部品について**

点検整備および修理の際、部品の交換が必要となった場合は、SNAKE MOTORS純正部品、またはSNAKE MOTORSが認めた部品をご使用ください。

それ以外の部品を使用した場合、保証期間内であってもその後の保証が適用されなくなる場合があります。

オートバイの点検

定期点検

◇6ヶ月点検項目

- ✓ **点火装置**
  - スパークプラグの状態
  - 点火時期
- ✓ **エンジン本体**
  - 排気ガスの状態
  - エアクリーナエレメントの汚れ
- ✓ **潤滑装置**
  - エンジンオイルの漏れ
- ✓ **クラッチ**
  - クラッチレバーの遊び
  - クラッチの作用
- ✓ **チェーンおよびスプロケット**
  - チェーンの緩み
- ✓ **ブレーキレバーおよびブレーキペダル**
  - レバーとペダルの遊び
  - ブレーキのきき具合
- ✓ **ブレーキドラムおよびブレーキシュー**
  - ドラムとライニングのすき間
- ✓ **ホイール**
  - タイヤの状態
  - ホイールのボルト・ナットの緩み

＋

◇12ヶ月点検項目・・・6ヶ月点検項目に加えて下記の項目も点検

- ✓ **エンジン本体**
  - かかり具合、異音
  - 低速、加速の状態
- ✓ **燃料装置**
  - 燃料漏れ
  - ｽﾛｯﾄﾙﾊﾞﾙﾌﾞ・ﾁｮｰｸﾊﾞﾙﾌﾞの作動
- ✓ **エクゾーストパイプ、マフラ**
  - 取付けの緩み、損傷
  - マフラの機能
- ✓ **チェーンおよびスプロケット**
  - スプロケットの取付状態、磨耗
- ✓ **ハンドル**
  - 操作具合、緩み
- ✓ **フロントフォーク**
  - 歪み、損傷、錆の有無
  - オイル漏れ
  - ステアリングステムの取付状態
  - ステアリングステム軸受部のがた
- ✓ **ロッド、ケーブル類**
  - 緩み、がた、損傷
- ✓ **ブレーキドラムおよびブレーキシュー**
  - シューの摺動部分の磨耗
  - ライニングの磨耗
  - ドラムの磨耗、損傷
- ✓ **ホイール**
  - フロントホイールベアリングのがた
  - リヤホイールベアリングのがた
- ✓ **バッテリー**
  - ターミナル部の緩み、腐食
  - 電圧
  - 充電電圧
- ✓ **電気配線**
  - 接続部の緩み、損傷
- ✓ **フレーム**
  - フレームの緩み、損傷
- ✓ **その他**
  - シャシ各部、ワイヤーの給油脂状態
  - 灯火装置・方向指示器の作動

オートバイの点検

メンテナンススケジュール

•下記メンテナンススケジュール表を活用しご自身でオートバイのメンテナンｽｽｹｼﾞｭｰﾙを計画してください

• 定期点検や定期交換の時期は、標準的な使用条件を想定して設定されています。

•走行距離が著しく多い場合や、苛酷な環境・状況などでご使用される場合は点検・交換時期を短縮して実施してください。

保証期間	登録日より1年間

日常点検	オートバイを使用する人が運行前に1日1回実施します

定期点検	初回点検	6ヶ月	12ヶ月	18ヶ月	24ヶ月	30ヶ月	36ヶ月
点検予定日	年 月　日	年 月　日	年 月　日	年 月　日	年 月　日	年 月　日	年 月　日

メンテナンスレコード

✓ **定期点検の記録簿**

定期点検を実施した場合は、点検を実施したSNAKE MOTORSサポート店に、このページに記入をしてもらってください。
こちらの記録簿に実施店の記名捺印なき場合は保証を受ける権利を失う場合もありますので、必ず実施してください。

定期点検名	初回点検
実施日/走行距離	年　月　日/　km
実施者 (サービスSHOP)	

定期点検名	6ヶ月点検
実施日/走行距離	年　月　日/　km
実施者 (サービスSHOP)	

定期点検名	12ヶ月点検
実施日/走行距離	年　月　日/　km
実施者 (サービスSHOP)	

MEMO

簡単なメンテナンス

この章であげる項目は、通常行われることが多い簡単な点検・整備の方法を説明しています。

整備をするときの注意点

⚠ WARNING

- 整備は、安全のためご自身の知識・技量に合わせた範囲で行ってください。
- 難しいことは無理をせず、SNAKE MOTORSサポート店にご相談ください。
- エンジン回転中および停止後しばらくは、マフラ、エンジンなどが熱くなっています。このとき触れるとやけどを負う恐れがあります。
- 点検、整備を行うときは火気厳禁です。

⚠ CAUTION

- 整備はエンジンを停止し、キーを抜いた状態で行ってください
- 安全のため、作業をする時は適切な工具を使用しましょう

簡単なメンテナンス

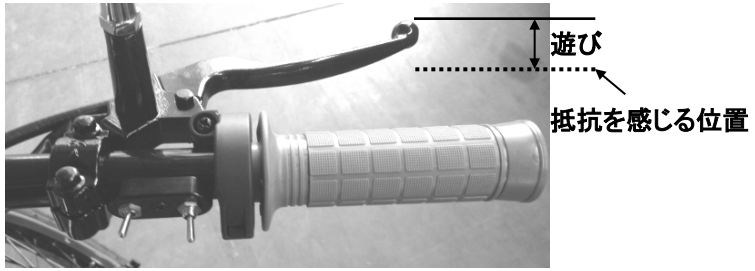
ブレーキ

✓ **前輪ブレーキ**

【ブレーキレバーの遊びの点検】
抵抗を感じるまでブレーキレバーを引き、レバー先端の遊びの量が規定範囲内にあることをスケールなどで点検します。

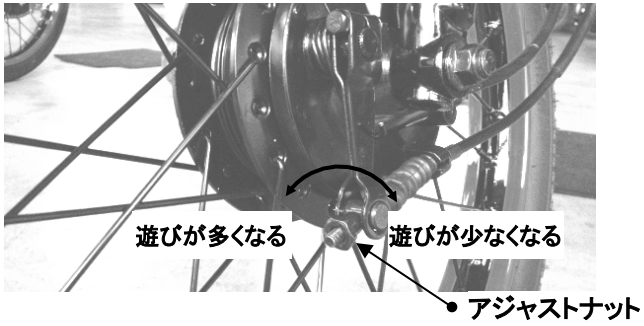
前輪ブレーキレバーの遊び規定値：10～20mm

規定範囲を超えている場合は調整してください。



【調整のしかた】
ブレーキパネルにある、ワイヤーアジャスタにより遊びを調整します。
アジャストナットを回して遊びの調整をします。

調整後は、ブレーキペダルの遊びを確認してください。

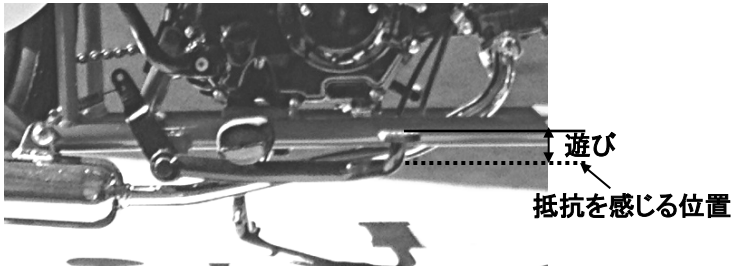


✓ **後輪ブレーキ**

【ブレーキペダルの遊びの点検】
抵抗を感じるまで手でブレーキペダルを押し、ペダル先端の遊びの量が規定範囲内にあることをスケールなどで点検します。

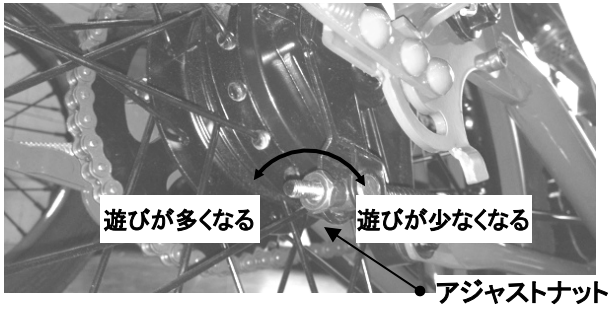
後輪ブレーキペダルの遊び規定値：10～20mm

規定範囲を超えている場合は調整してください。



【調整のしかた】
ブレーキアーム部にある、アジャスタにより遊びを調整します。
・アジャストナットを回して遊びの調整をします。

調整後は、ブレーキペダルの遊びを確認してください。



簡単なメンテナンス

ブレーキ

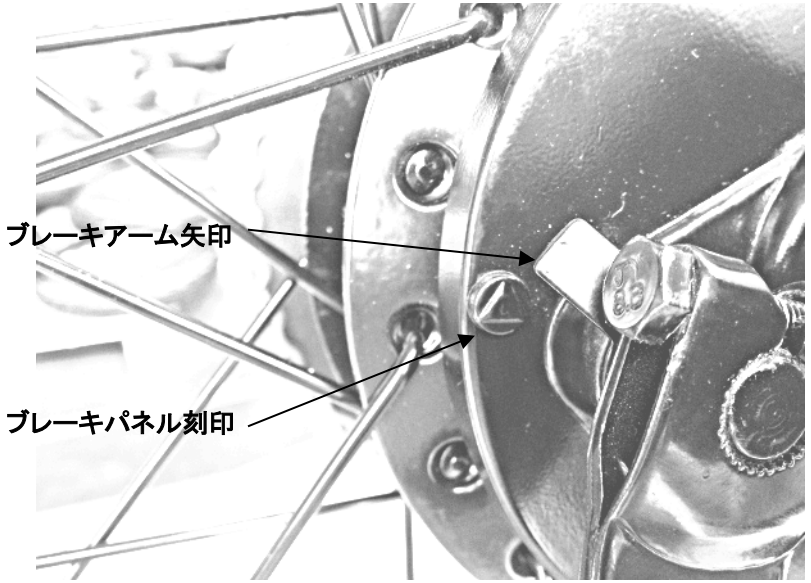
✓ **ブレーキシューの磨耗の点検**

前輪はブレーキレバーをいっぱいに引いて、後輪はブレーキペダルをいっぱいに押して、ブレーキアームの矢印とブレーキパネルの刻印が一致しないことを確認します。
一致する場合は、ブレーキシューの使用限界ですので、部品の交換が必要です。

ⓘ ATTENTION

交換部品は、SNAKE MOTORS純正部品または推奨部品を使用してください。

また、安全のために交換作業はSNAKE MOTORSサポート店で実施してください。



簡単なメンテナンス

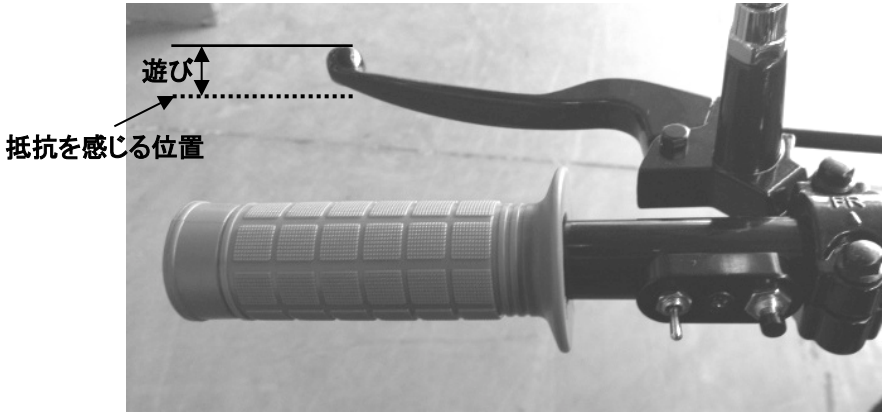
クラッチ

✓ **クラッチレバーの遊びの点検**

抵抗を感じるまで、手でクラッチレバーを引き、レバー先端の遊び量が規定の範囲にあることをスケールなどで確認します。

【クラッチレバーの遊び】
10～20mm

規定範囲を超えている場合は、調整をしてください。

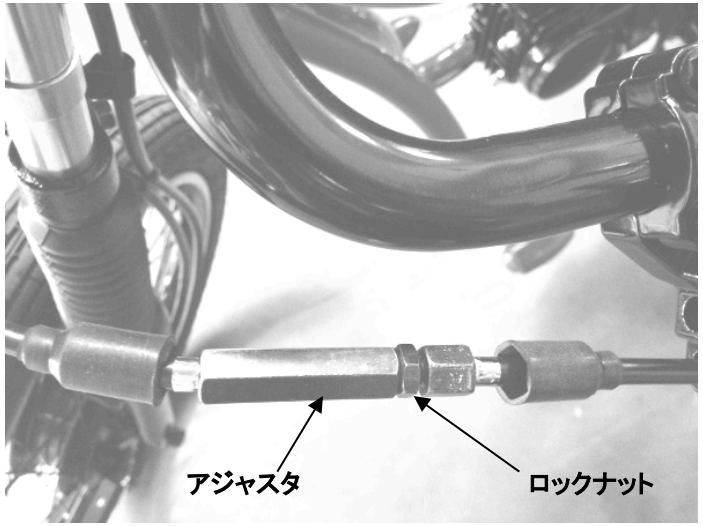


✓ **調整の仕方**

クラッチケーブルのアジャスタにより、クラッチの遊び量を調節します。

① ロックナットを緩めます。
② アジャスタを回して適正量になるよう調節します。
③ ロックナットを締付けます。

締付け後、クラッチレバーの遊びを再度確認してください。
また、調整後エンジンを始動し、シフトチェンジ操作がスムーズに出来るか、確認してください。



タイヤ

✓ **空気圧の点検**
タイヤが冷えている時に、エアゲージで規定の空気圧かを点検します。
規定値を外れている場合は、適正な空気圧に調整してください。

【タイヤの空気圧】

前　輪	2.0kg
後　輪	2.0kg

ⓘ ATTENTION

風船が自然にしぼむように、タイヤの空気圧も、何もしなくても徐々に低下していきます。少なくとも1ヶ月に一度はタイヤゲージを使用して、空気圧の点検を行ってください。

✓ **溝の深さの点検**
ウェアインジケータがあらわれていないかを点検します。ウェアインジケータがあらわれたときは、タイヤを交換してください。
また、インジケータがあらわれていなくても、タイヤの表面やサイドに傷や、異常磨耗があった場合も、タイヤを交換してください。

⚠ WARNING

不適正な空気圧での運転や、過度にすり減ったタイヤの使用は、転倒事故などの原因となり、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

取扱説明書に記載されたタイヤの空気圧を守り、規定の数値を超えてすり減ったタイヤや、傷などの損傷があるタイヤは交換してください。

✓ **タイヤ交換**
タイヤ交換する場合は、必ず指定サイズのタイヤを使用してください。

【指定タイヤサイズ】

前　輪	2.50-18（チューブ入り）
後　輪	2.50-18（チューブ入り）

⚠ WARNING

指定サイズ以外のタイヤの使用は、走行安定性に悪影響を与える場合があります。そのことが原因で転倒事故を起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性があります。

必ず指定サイズのタイヤを使用してください。

ⓘ ATTENTION

・新しいタイヤはスリップしやすいので、最初はオートバイを深く倒して走行せずに、徐々に倒す角度を大きくしてタイヤを慣らしてください。

簡単なメンテナンス

ドライブチェーン

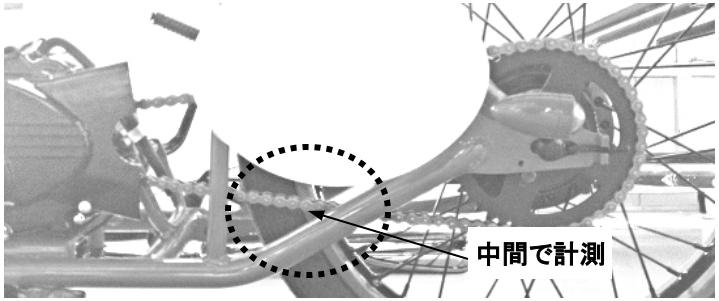
ドライブチェーンのメンテナンスは、必ずエンジンを停止した状態で行ってください。

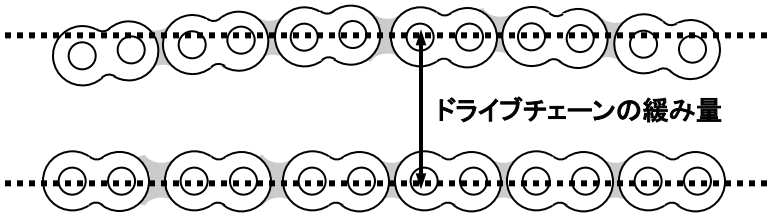
✓ **緩み（たるみ）の点検**

スタンドを立て、前後スプロケットの中間で、チェーンを手で上下に動かし、チェーンの緩み（たるみ）が規定の範囲内にあることをスケールなどで確認します。

ドライブチェーンの緩み： 5～10mm

緩みが規定の範囲を超えている場合は調整をしてください。
調整が必要な場合は、SNAKE MOTORSサポート店にご相談ください。
また、車体を直立にし、前後に動かしてチェーンがスムーズに回転することを確認します。
スムーズに回転しなかったり、異音が出る場合は異常です。





⚠ WARNING

- **チェーンの緩みが40mm以上の場合は絶対に走行しないでください。**
- **チェーンの緩みが大きい状態や、遊びが全くない状態で走行をすると、チェーンが外れたり、切れたりする恐れがあります。そのことが原因で転倒事故を誘引し、死亡または重大な 傷害に至る危険性があります。必ず、走行前にチェーンの遊びを確認してください。**

ⓘ ATTENTION

- **チェーンの緩みを計測するときは一箇所で計らず、タイヤを少しずつ動かして、3～4箇所で計測してください。**
- **上記の方法で計測し、緩み（たるみ）量が場所により違う場合は、チェーンの交換をお勧めします。**
- **新車および新品のチェーンは、装着後早い段階で馴染みのため、緩み（たるみ）が大きくなります。新車およびチェーン交換をしたときは、定期点検の時期にかかわらず500km程度走行後、チェーンの調整を実施してください。**

簡単なメンテナンス

ドライブチェーン

✓ **給油と清掃**

車体を前後に動かしてはサイドスタンドを立て、チェーンやスプロケットに付着した泥、汚れをチェーンクリーナやブラシなどを使って落とします。

汚れを落とした後、水気を切ってから給油をしてください。
チェーンローラの両側に給油し、オイルがチェーン全体に良くいきわたるようにしてください。

⚠CAUTION

・チェーンに給油するときは、つけ過ぎないように注意しましょう

・オイルをつけ過ぎると、衣服や車体に飛び散り、汚すだけではなく、タイヤに付着した場合、スリップしやすくなり、転倒事故などの原因となる恐れがあります。

⚠ WARNING

・チェーンの給油および清掃作業をするときは必ずエンジンが停止している状態で行ってください

・エンジンがかかっている状態で作業を行うと、万が一、ホイール

が回転を始めたとき、手を巻き込まれて重大な傷害を被る危険があります

簡単なメンテナンス

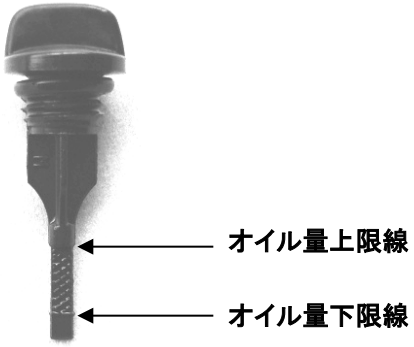
エンジンオイル

エンジンの性能を維持し、快適で安全な走行をするためには、
定期的なエンジンオイルの交換が必要です。
汚れたオイルや古くなったオイルは、エンジンに悪影響を与え、
最悪の場合エンジンが破損する可能性があります。

ⓘ ATTENTION

エンジンオイルは、人間にとっての血液と同じ役割を果たします。常に良好な状態を保つためにも、早めのオイル交換を心がけましょう。

【オイル量及び汚れの点検】
1.平らな場所でエンジンを3～5分間アイドリングさせます。
2.エンジン停止後2～3分後にオイルレベルゲージを外します。
3.綺麗な布等でオイルレベルゲージについたオイルを拭きます
4.布に付いたオイルが汚れているか確認しましょう
5.車体をまっすぐにして、オイルレベルゲージをねじ込まずに差込みます。
6.オイルがレベルゲージの上の線と下の線間にあることを確認します。
オイル量が下の線に近かったらオイルを補充します。
7.オイルレベルゲージを確実に取り付けます。



⚠CAUTION

•排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。エンジンの始動は、必ず風通しの良い場所で作業を行ってください。

•エンジン停止直後のメンテナンスは、エンジン本体やマフ

• ラー等が熱くなっています。ヤケドに注意して作業を行ってください。

✓ **推奨オイル**
銘柄:ロイヤルパープルオイル
SAE規格:10W-40

✓ **規定オイル量**
750ml

✓ **オイル交換時期**
初回:500kmまたは1ヶ月
以後:3,000kmまたは6ヶ月

エンジンオイルの交換は、SNAKE MOTORSサポート店にご相談ください。

ⓘ ATTENTION

•エンジンオイルは、メーカー推奨オイルをしましょう。

•オイルの量は多すぎても少なすぎてもエンジンに悪影響を与えます。規定量を守りましょう

•オートバイのクラッチは、常にオイルに浸されています。過度に摩擦を低減するオイルは、クラッチの滑りなどエンジンに悪影響を与える場合があります。

簡単なメンテナンス

バッテリ

この製品は、メンテナンスフリーバッテリを使用しています。
バッテリ液の点検、補充の必要はありません。

⚠ WARNING

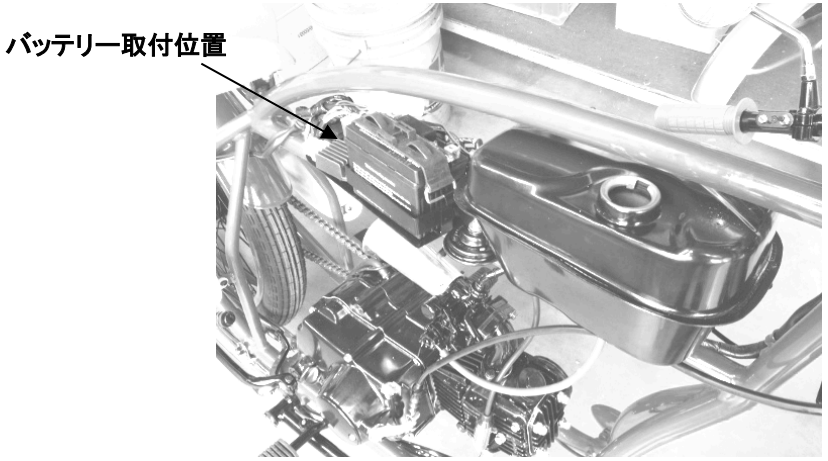
- **バッテリには、希硫酸が電解液として含まれています。希硫酸は腐食性が強く、目や皮膚に付着すると重いヤケドを負います。**
- **バッテリの近くで作業をする時は、保護メガネや手袋などを皮膚を保護する服を着用してください。**
- **バッテリを、子供の手が届く所に置かないでください。**

ⓘ ATTENTION

- **密閉式バッテリですので、液口キャップは絶対に取外さないでください。**
- **バッテリ充電時も液口キャップを取外す必要はありません。**
- **万が一、バッテリ液が皮膚に付着したときは、多量の水で洗浄してください。また、目に付着したときは、コップなどに入れた水で15分以上洗浄してください。応急処置後、直ちに医師の診察を受けてください。**

【バッテリの取外し】
1.タンクカバーを外します。
2.バッテリバンドを外します。
3.マイナス側の配線（緑色の配線）を外します。
4.プラス側の配線（赤色の配線）を外します。
5.バッテリ本体を取外します。

【バッテリの取外し】
取外しの逆手順でバッテリを取付けます。



⚠CAUTION

- **バッテリの取扱い時には、ショートによる火花やタバコ等の火気に十分注意してください。**

簡単なメンテナンス

オートバイのお手入れ

オートバイを長持ちさせるために、常に綺麗な状態を維持するよう心がけましょう。泥道や雨中を走行したときなどは、すみずみまでよく洗いましょう。
綺麗な状態を保てば、オイル漏れなどの異常が早く発見でき、故障の予防にもなります

【洗車方法】
1.水をかけながら、スポンジまたは柔らかい布で汚れを落とします
2.ひどい汚れなどは、中性洗剤を使用して水で洗い流します。
3.乾いたやわらかい布で、水分をふき取ります。
4.ドライブチェーンやブレーキワイヤーなどに給油をします。

⚠CAUTION

・洗車をする時はエンジンが冷えているときに行ってください。

・洗車をする時は、マフラーやエアファンネル・電装品に水が入らないよう注意してください。

・洗車後はブレーキのきき具合が悪くなることがあります。この場合は前後の他車に十分注意し、低速で走行しながらききが回復するまでブレーキを軽く作動させてください。

ⓘ ATTENTION

・コンパウンド入りワックスなどで、塗装面や樹脂製品を強く磨くと色むらや色落ちが生じる場合があります。

オートバイの保管

オートバイは出来るだけ屋内で保管し、屋外に保管する場合は、ボディーカバーをかけるようにしてください。

⚠CAUTION

・ボディーカバーは、エンジンやマフラーが冷えてからかけてください

ⓘ ATTENTION

長期間乗らない場合は、次の事項をお守りください。

・保管前に各部のワックスがけおよび給油を行ってください。サビを防ぐ効果があります。

・バッテリーは、自己放電と電気漏れを少なくするため、車体から外し、風通しの良いくらい場所で保管しましょう。もし、車体に積んだまま保管する場合は、電極の端子を外してください。

・キャブレター内のガソリンはすべて抜き取ってください。内部の腐食を防ぎます。

・長期保管後、乗車される際は、ガソリンタンク内のガソリンを、新しいガソリンに入れ替えてから、始動してください。

・保管期間が6ヶ月以上の場合は、エンジンオイルも新しいオイルに交換してからご利用ください。

主要諸元

項　　目	諸　　元
全 長 (mm)	1920
全 幅 (mm)	790
全 高 (m)	880
ホイールベース (m)	1300
最 低 地 上 高 (m)	170
キャスター角	25°
トレール(mm)	76
車 両 重 量 (kg)	65
乗 車 定 員	1人
タ イ ヤ サ イ ズ	前輪:2.50-18 / 後輪:2.50-18
エ ン ジ ン 形 式	4サイクル 単気筒
冷 却 方 式	空冷
総 排 気 量 (cc)	49
内 径 × 行 程(mm)	39×41.4
圧 縮 比	8.8:1

項　　目	諸　　元
最 高 出 力	3.2kw/7500rpm
最 大 ト ル ク	3.0Nm/7000rpm
クラッチ形式	湿式多板
トランスミッション	4速リターン
変 速 比 1速	3.27
2速	1.94
3速	1.35
4速	1.04
減 速 比 1次	3.72
2次	3.39
点 火 方 式	CDI
始 動 方 式	キック式
ブレーキ方式 前輪	リーディングトレーリング
後輪	リーディングトレーリング
燃 料 タ ン ク 容 量	4.0L

MEMO

有限会社セイノ（MOON AUTO)
〒194-0035　東京都町田市忠生2-28-4
http://www.snakemotors.com